

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスげんき広場		公表日		2026年1月30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	33%	67%	パーティションやマットなどで空間を分けるようにしている。	緊急時の個別対応や学習などのために個室になるスペースかたらない。 2号店再開に向けて努力中。 相談室の他に静養室も必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	33%	67%	職員の欠員が出たときに、活動内容を変更することで子どもの安全には配慮している。	規定以上の人員配置を行っているが、突発の個別対応が必要な時は厳しい面もある。 男女スタッフで出来る事、出来ない事もあるので偏りができる事もある。 その時々で、スタッフごとに支援する人数に偏りが生じることがあるので、できるだけ均等になるようにしたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	ホワイトボードや貼り紙を適切に使い、見える化が子どもたちにも定着してきている。週の活動予定表を見て参加有無を変えたり支度したりができるようになってきている。 騒いでしまった子等を一時的に避難させる部屋が無いが外に散歩に行くなどの対応をしたり、音は漏れてしまうが相談室で対応できるように工夫している。	トイレ前に段差がありケガの心配や、死角になり見えにくいところもある。 相談室があり他の子とは隔離できたりするが、壁上部が開いており完全な個室になっていないため周りの声は聞こえてしまう。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	83%	17%	スペースを分けることで、子ども達のニーズに極力合わせられるようにしている。 適宜消毒などを行っている	毎日の掃除、除菌はしているがクッションマット(穴あき)の下に食べこぼしが入ってしまうこともある、週一回ひっくり返し掃除はするが毎日ではできない。 簡易的な配慮はしているが十分ではない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	33%	67%	必要に応じて、相談室を使用するようにしている。 また、個室はないが、パーティションで区切り代用している。	やりくりしているが、足りないことも多い。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	33%	67%	最低限の回数は確保できている。	中間評価やケース会議をもっとこまめにやってもいいと思う。 子どもの支援計画書に関してはできていると思う。ただスタッフのPDCAに関してはできていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%	長期休暇時のイベントは保護者の意見を反映させている。 書面だけではなく、保護者会などの対面の機会を設け、意見の集約に努めている	面談時に評価表をもとにお話はするが面談する機会が全員できていない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%	毎朝のミーティングで困りごとがないかを確認している。	上長者面談等がほぼない為、中々業務の改善点を洗い出せてないと感じる。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	33%	67%	監査で指摘を受けることがないよう努力している。 また指摘を受けたときは改善をしている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	最近始めた動画研修に期待。 職員体制を工面しながら、可能な限りは受講できるように努めている。	資質向上にはまだ不十分なので、研修を繰り返しレベル向上を進める。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	67%	33%	定期的にスタッフで話し合って作成し、ホームページに公表している。	少しずつホームページの改訂をしてきているが、十分ではない。 ホームページの内容の適否を判断できる人が限られてる。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	83%	17%	保護者との定期面談を設けている。 追跡が必要なものは追跡をし、検証している	保護者ニーズ アセスメントをスタッフ全員がするまでには至っていない。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	83%	17%	可能な限り全職員が集まり、話し合うようにしている。	ケース会での意見などが決まった職員からしか聞こえてこない。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	50%	50%	日々の記録では支援計画を見ることになっている。	支援計画を共有して各スタッフからの支援が課題。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%	子どもの状況がわかるような見える化の資料を作成予定。	支援の仕方が共通されていない。 なかなか標準化したツールは作れないところが難しい

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	67%	33%	各家庭と面談を行い必要なこと、出来ることを設定している	設定はしているが適切かどうかわからない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83%	17%	スタッフで話し合い、子どもが飽きないように工夫している。	週案や活動内容は決まった職員からの意見が多くなってしまふ事もある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	67%	33%	イラスト教室や地域のイベント等にも参加している。	活動内容が固定化しがちではある。子どもの特性によっては固定化した方がいい時もある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別療育プログラム・小集団プログラムを設けて利用者が個をだしやすい環境を用意している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎朝のミーティングで確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50%	50%	その日ではなく、翌日ではあるが支援をしていて気になったことを伝え合っている。	終礼がないことや、送迎報告もあたりなかつたりのため、十分な共有や活動振り返りができないことが多い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	83%	17%	保護者や担任から言われたことも含めて記録するようにし、改善が必要なところは話し合いをしている。	検証改善の機会が少ない。改善はケース会議で実施しているが、足りていない気がする。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	83%	17%	保護者などからのコメントを踏まえ、見直しを図ってきている。	児童によって見直しの多少はある
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	50%	50%	こどもの特性にあった支援を検討し、実施できている。	4つの基本活動が十分できているとは言えない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	利用日などを含め、活動に対しどうするのかを自己決定できるようにしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		昨年度と比べ開催されるが増えてきているが、現場をよく知っている「児童指導員」が出席した方が良いのではと思うことがある。子どもの状況をみて、連絡をとり相談し合えるように話をする。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	60%	40%	体制を整え、連絡を取れるようにしている。	いつでも体制は整えているとは思いますが、学校によっては連携して頂けないことある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		学校との共有は十分にはできていない、急な変更もよくある。下校時間通りに下校しないことも多い。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%		情報共有する機会を設けられてない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50%	50%		対象者はいるが、情報提供ができていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	33%	67%		助言等してくれる地域の施設がない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	83%	17%	児童館には行かないがイベント見学、体験には参加できる限り参加している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	33%	67%		協議会の開催機会がない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送り届けのときなどに、保護者と会話をする機会を持つようにしている。	どの子についても保護者と話し合いができていないわけではない。職員の意識高揚も課題。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	定期的に保護者にお知らせを配っている。情報の提供は出来る限り行うようにしている。	わからない
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	83%	17%	行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	行っている。	支援内容の十分な説明は行えていない。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	相談に都度応じている。	送迎時連絡帳などで出来る限り対応しているが、職員によって出来ていないこともあるのかもしれない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	計画的に開催している。	保護者会・親子行事を開催してはいるが参加率は少ない。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	努力はしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ブログ・通信の発行を定期的に行っている	HP・SNSの改善を進めていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	十分とは言えないが気を付けている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	わかりやすい言葉・写真・絵カード・タイムタイマーなどを利用しサポートに努めている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	67%	33%	連絡帳や送迎時に連絡をもらうようにはしている。	常習の子供は分かるが、突発の服薬は連絡があれば実施することができる。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	33%	67%	意思の指示書が必要な対象者はいないが食物アレルギー以外にも常に気を付けている。医師の指示の元ではないが必ず保護者に聞き気をつけている。	アレルギー対応が必要な児童はいない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	必要により実施している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	50%	50%		共有はできていない面がまだ多い。ヒヤリハットに気がついていないことも多い。発生したヒヤリハットの検討会を随時に行うべき。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	随時行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	組織として検討し実施している。	